



新潟県立堀之内高等学校

定時制・単位制高等学校 [普通科]

令和9年度 学校案内

夢
無限大





こころざし高くたもたむ

展望は広く描かむ 学習を深くすすめむ

柔軟で夢のある単位制の高校

- ▶基礎からゆっくり学びたい人、教養を身につけたい人、就職や進学のための学習をしたい人などに適した高校です。
- ▶選択授業をあわせて学ぶことで、全日制高校と同様の3年間での卒業を目指します。
- ▶3年を越えて、4年以上での卒業もできます。
- ▶学習する科目の単位を積み上げて74単位以上の修得で卒業できます。
- ▶学期は前期、後期の2学期制です。
- ▶他の高校で修得した単位を生かすことができます。
- ▶通信制との併修もできます。
- ▶条件を満たすことで、学校外の活動(アルバイト・ボランティア)も単位認定されます。
- ▶通級による指導を実施しており、自立活動として単位認定されます。

単位制高校はどんな人に向いていますか？

開講される選択科目の中から、年度毎に自分で受ける授業を選びます。

進路希望がはっきりしている人は、進路実現のために必要な科目を重点的に選択できます。

進路について迷っている人は、広く様々な分野から科目を受講し、その中から自分が興味ある分野を見つけることができます。

あまり勉強が得意でない人や、学校が少し苦手だった人は、3年間での卒業を目指しながら、3年を越えての学校生活の中で、自分の学びを深めることもできます。

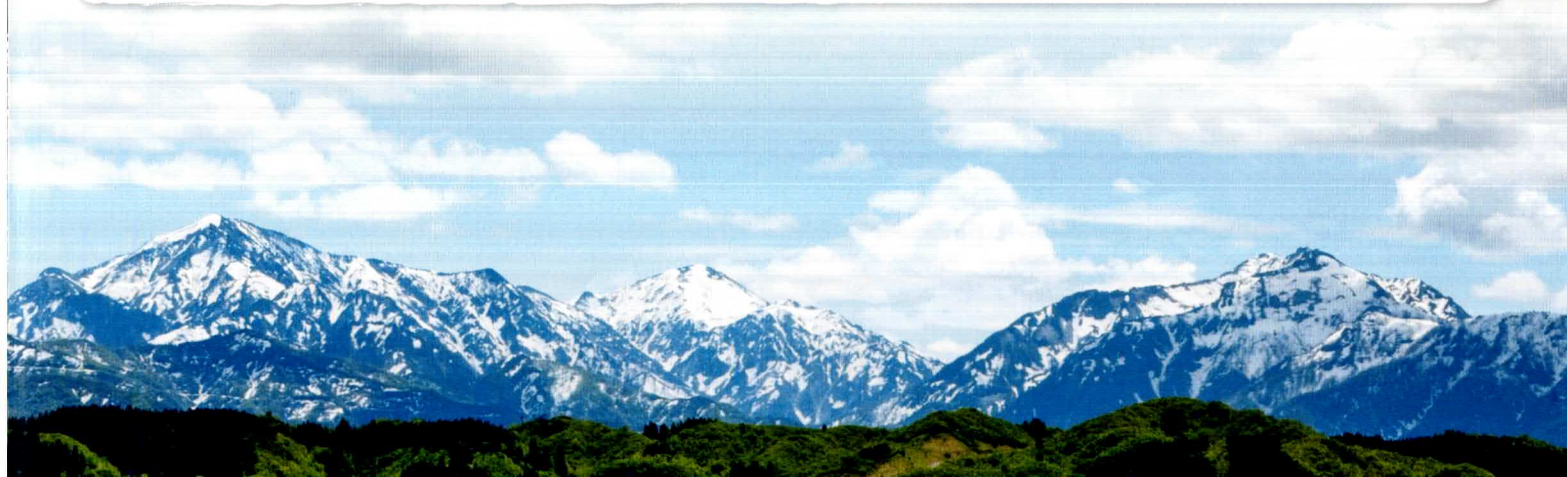
単位制高校を選ぶ理由を教えてください！

単位制高校は、(1)多様な選択科目、(2)少人数教育が特徴であり、生徒一人ひとりの個性を伸ばしやすい学校です。

自分の在り方、生き方を考え、将来の進路を見据えて、自分で自分にあった時間割を組み立てて学ぶのが基本です。

そこで、しっかりした目標や希望を持ち、それを実現するため、積極的に挑戦する姿勢が求められます。

そのようなことから、主体的な生き方、学習をしたいと考える人に入学して欲しいと思います。





Q. 卒業の条件は何ですか？

A.

在学中の学習活動を通じて次の3つの条件を満たせば卒業が認定されます。

- 必修科目を履修していること。(授業を受けること)
- 修得単位数が合計74単位以上であること。
- 特別活動(LHR等)・総合的な探究の時間を履修し、その成果が満足できると認められること。

Q. 単位とは何ですか？

A.

単位とは、学習の量を示すことばです。週1時間の授業を1年間受けると1単位になります。例えば「現代の国語」が、週2時間ありますと1年間で2単位になります。

Q. 「履修」と「修得」とは何ですか？

A.

決められた時間数授業に出席すると「履修」が認められます。履修が認められた科目の学習について一定の成果があると判断されると、「修得」が認められます。



Q. 留年がありますか？

A.

留年はありません。単位制では、学年制と違い、各学年で課程の修了の認定(進級の認定)を行わず、3年以上で一定の単位を修得して卒業することになります。学年毎の進級の認定を行いませんから留年はないのです。

Q. 自分の時間割を作ることですが、自分の思うままに作ってよいのですか？

A.

1年次は必修科目を中心に学習しますが、一部選択科目があります。2年次以降は選択科目が多くなるため、科目選択にあたっては、夏ごろに次年度に向けた履修指導(ガイダンス)を行います。自分で作る時間割とは、勝手気ままに作る時間割ではなく、自分の進路希望に合わせて作る時間割と考えてもらった方がよいと思います。

Q. 単位制高校に転校した場合、前の高校で修得した単位はどうなりますか？

A.

生徒が他校から転入したり、退学後、編入したりする場合、以前の在籍した高校で修得した単位数は、卒業に必要な単位数にそのまま加えます。

Q. 部活動がありますか？

A.

全日制と同じようにあります。部活動は、基本的には定時制の大会に出場となりますが、種目や大会によって全日制の大会に出場は可能です。

単位制と学年制とはどのような点が違うのですか？

主な相違点を表にしてみましょう。

項 目	単 位 制	学 年 制
教育課程	学年の枠を外し、個人が選択した科目を学ぶ。 異年次混合授業もある。	学年ごとに決められた科目を学ぶ。 同一学年の生徒のみの授業。
時 間 割	自分で作る時間割。	学校で決めた時間割。
授 業	科目選択に応じ、教室を移動して受けることが多い。	自分が所属するホームルーム教室で受けることが多い。
卒 業	3年間で一定単位を修得すれば卒業できる。 (進級の認定を行わない)	学年ごとに決められた単位数を修得した場合に進級の認定 が行われ最終学年に卒業が認定される。
学 期	2学期制(前期・後期)	3学期制が多い。

授業時間

定時制課程【月曜日～金曜日】

午前部【70名】(転編入 若干名)

時限	時間帯	1年次	2年次	3年次	4年次以降
SHR	8:40～ 8:50				
1限	8:55～ 9:45				
2限	9:55～10:45				
3限	10:55～11:45				
4限	11:55～12:45				
清掃	12:50～13:00				
昼休み	13:00～13:45				
5限	13:45～14:35				
6限	14:45～15:35				

※1 は必修科目。(必ず授業を受けなければならない科目)

※2 は選択科目。(自分の希望により選択して授業を受ける科目)

※3 表は必修科目と選択科目との大体の割合のイメージです。

カリキュラム

興味・関心や適性、進路希望等に応じて選択できる多様な科目

(令和9年度入学生予定)

1年次

- ▶ **必修**
総合的な探究の時間 (1)
- ▶ **特活**
LHR (1)
- ▶ **必修修科目**
現代の国語 (2)
言語文化 (2)
公共 (2)
数学Ⅰ (4)
科学と人間生活 (2)
体育 (2)
保健 (1)
英語コミュニケーションⅠ (4)
家庭総合 (2)
情報Ⅰ (2)
- ▶ **必修修選択科目**
化学基礎 (2)
生物基礎 (2)
地学基礎 (2)
音楽Ⅰ (2)
美術Ⅰ (2)
書道Ⅰ (2)
- ▶ **自由選択科目**
数学A (2)
教養数学Ⅰ(学) (2)
実用書道(学) (2)
論理・表現Ⅰ (2)
ビジネス基礎 (2)

2年次

- ▶ **必修**
総合的な探究の時間 (1)
- ▶ **特活**
LHR (1)
- ▶ **必修修科目**
地理総合 (2)
歴史総合 (2)
体育 (2)
保健 (1)
家庭総合 (2)
- ▶ **必修修選択科目**
化学基礎 (2)
生物基礎 (2)
地学基礎 (2)
音楽Ⅰ (2)
美術Ⅰ (2)
書道Ⅰ (2)
- ▶ **自由選択科目**
数学A (2)
教養数学Ⅰ(学) (2)
実用書道(学) (2)
論理・表現Ⅰ (2)
ビジネス基礎 (2)
論理国語 (4)
文学国語 (4)
古典(学) (2)
ベーシック国語(学) (2)
倫理 (2)
政治・経済 (2)
数学Ⅱ(4) 数学B (2)
化学(4) 生物(4)
スポーツⅡ (2)
総合スポーツ(学) (2)
音楽Ⅱ(2) 美術Ⅱ(2)
書道Ⅱ(2) 声楽(2)
工芸Ⅰ(2) 篆刻・刻字(2)
英語コミュニケーションⅡ(4)
外国語理解(2) 教養英語(2)
簿記(4)
情報処理(4)
自立活動(2)

3年次

- ▶ **必修**
総合的な探究の時間 (1)
- ▶ **特活**
LHR (1)
- ▶ **必修修科目**
体育 (3)
- ▶ **必修修選択科目**
化学基礎 (2)
生物基礎 (2)
地学基礎 (2)
音楽Ⅰ (2)
美術Ⅰ (2)
書道Ⅰ (2)
- ▶ **自由選択科目**
数学A (2)
教養数学Ⅰ(学) (2)
実用書道(学) (2)
論理・表現Ⅰ (2)
ビジネス基礎 (2)
論理国語 (4)
文学国語 (4)
古典(学) (2)
ベーシック国語(学) (2)
倫理 (2)
政治・経済 (2)
数学Ⅱ(4) 数学B (2)
化学(4) 生物(4)
スポーツⅡ (2)
総合スポーツ(学) (2)
音楽Ⅱ(2) 美術Ⅱ(2)
書道Ⅱ(2) 声楽(2)
工芸Ⅰ(2) 篆刻・刻字(2)
英語コミュニケーションⅡ(4)
外国語理解(2) 教養英語(2)
簿記(4) 情報処理(4)
自立活動(2)
ことばと表現 (2)
地理探究 (4)
日本史探究 (4)
音楽Ⅲ(2) 美術Ⅲ(2)
書道Ⅲ(2)
ビジネス・コミュニケーション (2)
保育基礎 (2)
フードデザイン (2)

4年次

- ▶ **必修**
総合的な探究の時間 (1)
- ▶ **特活**
LHR (1)
- ▶ **必修修選択科目**
(3年次と同じ)
- ▶ **自由選択科目**
(3年次と同じ)

 は1年次から、
 は2年次から、
 は3年次から
 選択可能な科目です。
 ()内の数字は単位数です。
 (学)は学校設定科目です。

※自由選択科目については予定であり、生徒の選択状況等により開講されない場合もあります。



4月

5月

6月

A student wearing a black hoodie with a yellow logo is working on a long wooden beam in a workshop. The background shows various tools and equipment.

7月

8月

A large, white, bird-like sculpture hangs from the ceiling in a room with a patterned carpet and a wall-mounted artwork. The sculpture is a stylized bird with its wings spread, suspended by thin wires. The room has a patterned carpet with small, colorful motifs. On the wall, there is a large, dark, rectangular artwork with a grid of small, light-colored dots. A window with a light-colored blind is visible on the right side of the room.

9月

10月

A photograph of a classroom. A male teacher stands at the front near a chalkboard, gesturing towards a digital screen displaying a presentation. Students are seated at their desks, some looking at the screen, others at their laptops. The room has large windows on the right side.

11月

A photograph of a student with dark hair, wearing a white face mask and a light-colored jacket, sitting at a wooden desk. They are looking down at a handheld electronic device with a green screen, which appears to be a calculator or a small tablet. The device has a grid of buttons. The background is dark and out of focus.

12月

1月

1. *Journal of the American Medical Association*, 2000; 284: 2689-2695.

2月

3月

卒業式
魚沼企業オリエンテーション
終業式
離任式



運動部

- ▶ 陸上競技 ▶ 卓球
- ▶ バスケットボール ▶ 剣道
- ▶ バドミントン
- ▶ ソフトテニス

文化部

- ▶ ビジネス・コンピュータ
- ▶ 美術 ▶ 音楽
- ▶ 書道 ▶ 調理

各種大会記録 (令和7年度)

- 陸上競技部**
- ・新潟県高等学校定時通信制総合体育大会
 - 男子 円盤投 第2位 (全国大会出場)
 - 男子 800m 第3位
 - 男子 砲丸投 第3位
 - 女子 400m 第4位
 - ・全国高等学校定時通信制体育大会
 - 男子 円盤投 第9位
- バスケットボール部**
- ・第73回北信越高等学校定時通信制総合体育大会
 - 男子 第1位 (新潟県選抜チーム)
- 卓球部**
- ・新潟県高等学校定時通信制総合体育大会
 - 女子 個人戦 第4位 (全国大会・北信越大会出場)
 - ・第73回北信越高等学校定時通信制総合体育大会
 - 女子 個人戦 第3位
- バドミントン部**
- ・新潟県高等学校定時通信制総合体育大会
 - 男子 個人戦 第2位 (全国大会・北信越大会出場)
 - 女子 個人戦 第6位 (全国大会・北信越大会出場)
 - ・第73回北信越高等学校定時通信制総合体育大会
 - 男子 団体戦 第5位 (新潟県選抜チーム)
 - 女子 団体戦 第5位 (新潟県選抜チーム)
- 剣道部**
- ・新潟県高等学校定時通信制総合体育大会
 - 男子 個人戦 第1位 (全国大会・北信越大会出場)
 - 女子 個人戦 第3位 (全国大会・北信越大会出場)
 - ・全国高等学校定時通信制体育大会
 - 女子 団体戦 第5位
 - ・第73回北信越高等学校定時通信制総合体育大会
 - 男子 個人戦 第1位
 - 女子 個人戦 第3位
 - 混合団体 第2位 (新潟県選抜チーム)
- ソフトテニス部**
- ・新潟県高等学校定時通信制総合体育大会
 - 男子 個人 第1位 (全国大会・北信越大会出場)
 - 男子 団体 第1位 (全国大会・北信越大会出場)
 - ・全国高等学校定時通信制体育大会
 - 男子 個人 ベスト32
 - ・第73回北信越高等学校定時通信制総合体育大会
 - 男子 団体 第1位 (新潟県選抜チーム)

在校生からのメッセージ①

私は堀高に入学したことで、様々なことに前向きになりました。まず一番には、勉強に向かう姿勢が前向きになりました。中学生のころは、勉強の基礎からわからない…そんな私でした。堀高では少人数の授業で先生に質問や会話が気軽にできます。そのおかげか、今まで取ったことのないような良い成績を残すことができてうれしかったです。基礎を学べる授業も多く、自分に合った時間割を組めるのも、前向きになれた理由だと思います。

行事なども楽しいですし、先生方は進路に対しては親身になってサポートしてくれます。堀高は、楽しいのはもちろん、行事、進路など、どのことにも先生方がまっすぐに向き合ってくれる学校です。

卒業生の進路状況 (令和7年度)

(令和8年3月31日現在)

		男	女	計
進 学	4年制大学	1	2	3
	短期大学	0	0	0
	専修・各種学校	5	7	12
	職業訓練校	6	0	6
就 職	県内	8	7	15
	県外	1	0	1
家事・その他		0	1	1
卒 業 者 数		21	17	38

進学先学校名

■大学

長岡大学
相模女子大学
東京福祉大学

■専修・各種学校

国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校
長岡公務員・情報ビジネス専門学校
新潟調理師専門学校
長岡クレアビューティ専門学校
日本ITビジネス公務員専門学校
日本アニメ・マンガ専門学校
悠久山栄養調理専門学校

■職業訓練校

新潟県立魚沼テクノスクール

主な就職先企業名

井口建設工業 株式会社
阿部幸製菓 株式会社
伊米ヶ崎建設 株式会社
有限会社 大塚金物店
新和コンクリート工業 株式会社

社会福祉法人 苗場福祉会
株式会社 カイセ工業
㈱西武プリンスホテルズワールドワイド新潟地区(苗場プリンスホテル)
日本通運 株式会社 新潟支店
福田道路 株式会社

北越産業 株式会社
株式会社 マルイ
テーブルマーク 株式会社
株式会社 エンゼルホテルズ
自衛隊(陸上)

学校納付金

学校納付金・団体納付金は、次のとおりです。

- (1)入学科 2,100円
- (2)授業料 1単位 ... 145円 (月額 高等学校等就学支援金の対象です。)
- (3)修学旅行積立金 ... 8,000円 (月額 合計 約96,000円)
- (4)その他 約10,000円 (生徒会費、PTA会費、その他掛金等 4・6月分納)

※高等学校等就学支援金は、国が授業料を補助するものです。
※この他に、入学時に教科書・副教材の費用(約20,000円)、
学年徴収金(28,000円)、指定靴代金(4,290円)、学習用端末
代金(約50,000円)などが必要となります。
※推奨制服(一式約56,000円)、推奨体操着(一式約18,000円)

○入学科の減免や高等学校等就学支援金制度につきましては、学校事務室
にお問い合わせください。

在校生からの メッセージ②

堀之内高校は、生徒一人ひとりが目標を設定し、目標に向けて頑張れる学校です。

授業では、選択科目が多いので、自分の興味や進路に合わせて、科目を選択することができます。そのため、高いモチベーションで授業に臨むことができます。また、少人数の授業が多いので、先生に質問しやすく、基礎・基本から身につけることができます。さらに、他の年次とともに受ける授業もあり、その際のコミュニケーションが、生徒会活動や部活動の際にも繋がっています。

授業以外でも、様々な活動で自分を高めることができます。各種検定に挑戦することができたり、アルバイトやボランティア活動が卒業単位に認められているのも魅力の一つです。また、生徒会活動や部活動に参加することで充実した学校生活を送ることができます。

入学者選抜方法

課 程 定時制
学 科 普通科（午前部）

新 入 生

募集定員 70名

※募集定員は令和8年度の募集定員です。
※令和9年度の募集定員等は10月に決定する予定です。

一般選抜

◎学力検査（国語、数学、英語）

※満20歳以上の志願者は、希望により3教科に代えて作文で受検することができます。

◎面接

*一般選抜で欠員が生じた場合、2次募集を行います。

転入生・編入生

（注）転・編入学については、必ず問い合わせをしてください。

募集定員 若干名

選抜方法 令和9年1月頃に本校ホームページ等で発表します。

体験入学

6月下旬～11月下旬の間、随時行っています。事前に問い合わせをしてください。

🔍 ▼ 堀之内高校 🔍 検索



新潟県立堀之内高等学校

〒949-7413 新潟県魚沼市堀之内3720番地
TEL.(025)794-3317 FAX.(025)794-5607
URL <http://www.horinouchi-h.nein.ed.jp/>